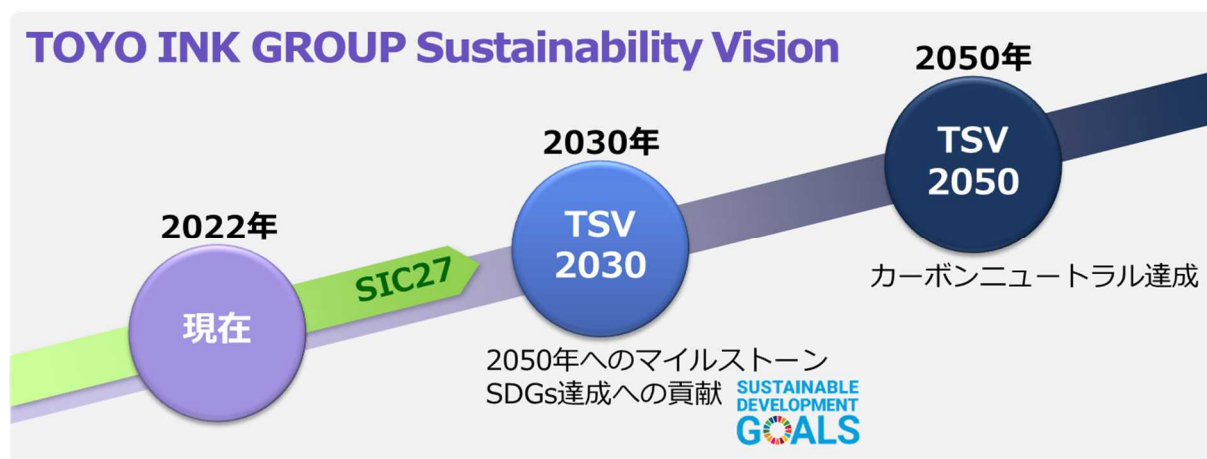


2022 年 2 月 14 日

東洋インキグループ

サステナビリティビジョン「TSV2050/2030」を策定

東洋インキグループは、近年の気候変動対応やカーボンニュートラル、SDGs への取り組みに関するグローバルの動向、および企業に向けられた要請が活発化している社会状況に対応すべく、グループの CSR/サステナビリティ活動の実践的な長期目標として、2022 年 1 月、サステナビリティビジョン「TSV2050/2030」を策定しました。



今般東洋インキグループが策定したサステナビリティビジョン「TSV2050/2030」は、2050 年を目標年に設定した「TSV2050」と、そのマイルストーンとして 2030 年を中間目標年に設定した「TSV2030」の二つで構成されます。

TSV2050 は、当社グループが SIC-II 中期経営計画の中で宣言した『2050 年におけるカーボンニュートラル達成』を中心に、さまざまなサステナビリティ活動を推進するための基本的なビジョンです。一方、TSV2030 は、TSV2050 の時間軸上のマイルストーンであるとともに、国連で提唱された 2030 年を目標年とする SDGs（持続可能な開発目標）の達成のための、企業グループとしての貢献を推進する中間目標です。

これら二つの目標からなる TSV2050/2030 は、当社グループの価値提供の方向性である「持続可能な社会を実現させる製品・サービスの提供」「モノづくりでの環境負荷低減」「信頼される企業基盤の構築」の 3 つの柱で構成されており、当社グループの CSR、サステナビリティ、ESG に関するあらゆる取り組みのベースとなります。

TSV2030	TSV2050
1. 持続可能な社会を実現させる製品・サービスの提供	
<ul style="list-style-type: none"> ◆サステナビリティ貢献製品売上高比率80% ◆ライフサイクル視点でCO₂排出削減に貢献できる製品の拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ◆すべての製品をサステナビリティ貢献製品に ◆お客様の脱炭素化に貢献
2. モノづくりでの環境負荷低減	
<ul style="list-style-type: none"> ◆ CO₂排出量：国内35%削減 (2020比) 海外35%削減 (2030BAU比) ◆廃棄物外部排出量：国内50%削減 (2020比) ◆有害化学物質排出量：国内30%削減 (2020比) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆生産活動でのCO₂排出量を実質ゼロ、環境負荷を最小化 ◆廃棄物の発生を最小化 ◆持続可能な水利用を実現
3. 信頼される企業基盤の構築	
<ul style="list-style-type: none"> ◆環境・社会調和な原料調達の実現 ◆社員の多様性の尊重、自然・地域との共生 ◆絶え間ないガバナンス体制の再構築 	<ul style="list-style-type: none"> ◆サプライチェーン、人材・地域活動、ガバナンスを環境・社会貢献の視点で継続的に改革・変革

TSV2050/2030の詳細につきましては、弊社ウェブサイトのコンテンツページをご覧ください。

<https://schd.toyoinkgroup.com/ja/csr/group/tsv.html>

本件に関するお問い合わせ先
東洋インキ SC ホールディングス株式会社 グループ広報室 TEL: 03-3272-5720 MAIL: info@toyoinkgroup.com

以上